

# 特許と論文審査

知能グループ主査 佐藤誠

# 知能グループの担当分野

自然言語処理  
Webマイニング

ゲーム情報学

認知  
知能一般

マルチエージェント

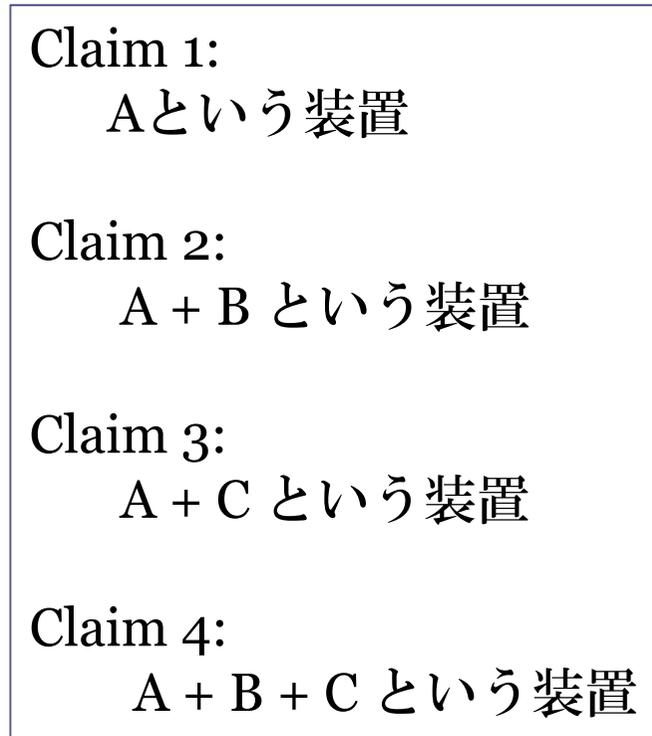
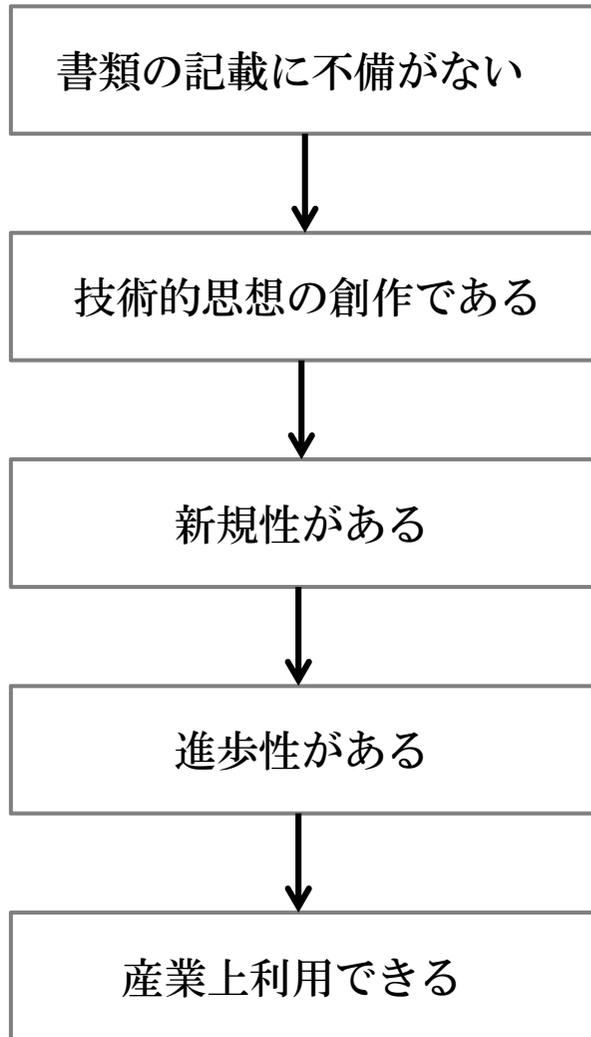
データマイニング  
機械学習

# 発明の特許権

- 発明の定義(特許法)：
  - 自然法則を利用した技術的思想の創作のうち高度のもの
- 特許要件を満たす発明：
  - 産業上利用できる
  - 新規性がある
  - 進歩性がある (容易に思いつくものではない)
- その他：
  - 公序良俗に反しない
  - 書類に不備がない

# 特許明細書とClaim

全て満たす



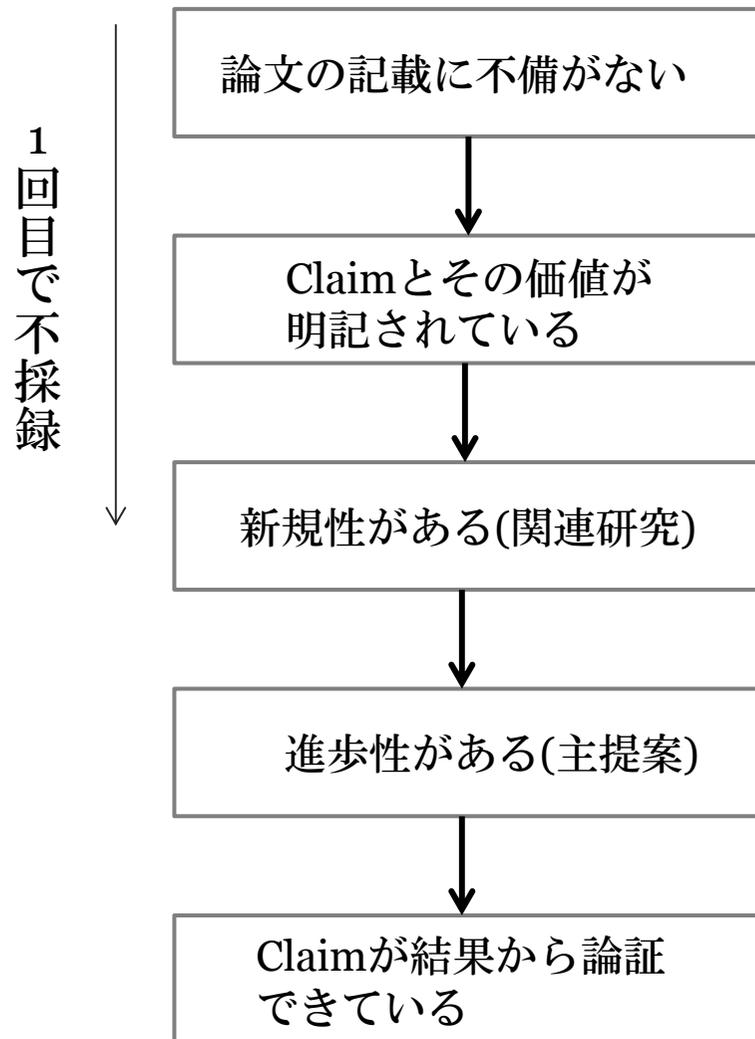
大



小

Claimは階層的

# 論文査読と学術的知見(Claim)



Claim 1:  
Aという知見

Claim 2:  
Bという知見

Claim 3:  
Cという知見

$V(\text{Paper}) = V(A) + V(B) + V(C)$   
If  $V(\text{Paper}) \geq 60 \Rightarrow$  採録

Claimは加算的

技術的思想の創作でなくてもよい  
(現象の体系化、発見、考察)

# 例

- 本論文ではAというアイデアを文書検索に導入  
← 査読者：そのアイデアは過去にもある： $V(A) < 60$   
(80年代の論文を数件参照してreject)
- Aというアイデアを導入した新しい文書検索アルゴリズムを提案
- Web上のドキュメントに適したアルゴリズムを提案
- 大量の実際のWebデータに適用  
+
- 現状のコンピュータでの実行速度を検証。応用システムの可能性、限界を考察

## チェックポイント

### <著者>

- Claim A, B, Cは書いているか。どれとどれが認められたら60点を超えるか戦略を持っているか？
- この論文で示す結果から論証しようとしているClaimと、その一般的な展開への期待を混同して記載していないか？

### <査読者/メタ査読者>

- 減点主義になっていないか。A,B,CのうちCに明らかな間違いがあっても $V(A)+V(B) \geq 60$ ならば採録すべき(Cは削除してもらおう)。